



“湖畔の宿ふる里”建設真っ最中です!!

昨年11月の『ふくろうだより』の巻頭言で『決定しました！特別養護老人ホームがふる里に！』との表題でお伝えしました“湖畔の宿ふる里”的建設、現在着々と進んでいます。45社以上の建設業者様が協力体制をとつておられます。私の願いと祈りは、毎日を“事故無く安全に”“協調性を持って仲良く”進めて欲しいということだけです。“湖畔の宿ふる里”的施設長になる職員が現在、“特養準備室長”として特養の機能を最大限に發揮させるための部屋の位置や間取りに関するこを建設関係者と話し合い。職員に関心を持つてもらうために建設状況の報告したり、間取りや位置など部屋の状況、希望備品の選定など職員の要望を細かく聞きながら積極的に進めています。職員誰もが働き易い環境を作り、利用者、入居者の皆様方に“心地よく”“快適に”“安全に”生活していただく為の方策を考えており、それらのことを達成させようと、職員と“和”を保ち、“笑顔”を提供しながら現在進行してくれています。

11月1日にホームページをリニューアルしました。これまでの「ティーサービス」、「自立支援センター（A型）」に加え、新しく「居宅介護支援事業所」、「在宅介護支援センター」の活動も掲載します。何よりも今回のリニューアルの狙いは、“特養「湖畔の宿ふる里」”の項目を設けるためでした。実際の活動は新年度からなので試作の状態であります。建築の様子完成までの紹介、入居者や職員募集など徐々にアップして参ります。ちょっとオシャレで粋なホームページにして参ります。今回ちょっと見て頂いて、ちょこちょこ訪問してみて下さい。

『秋の日はつるべ落とし』と言われます。利用者の皆さんを送つてふる里に戻る時には真っ暗になります。私は、帰宅すると先ずお風呂でリラックス。そして夕食になりますが、ゆっくり酒を呑みながらの夕食は、今日一日の頑張りを実感できる時間です。反省も多いのですが自分で自分を誉める時間もあります。先日、娘に赤ちゃんが出来たことをお話しましたが、家内が今、孫のために服を作っています。赤ちゃんの肌がデリケートなので縫い目が肌に当たらないようにと、縫い目が裏にならないように神経を集中して製作しています。家内自身が、「私も小さい頃、母が服を作ってくれて嬉しかったから…。」って。母から子へ、子から孫へと継承されていく喜びと感謝の思いの流れは、素晴らしいと思います。私は、秋の夜長に家の裁縫の様子を肴に、そして、娘夫婦の喜びと期待を想像しながら毎日呑んでいます。娘から“赤ちゃんができたよ。”の報告を受けた日からは、夜の食事への思いがたまらなく、仕事に区切りをつけて早めに帰宅するようになりました。年末に、娘夫婦が帰省する予定ですが、赤ちゃんの動きを感じさせてくれるのが楽しみでなりません。

センター長 森 隆敏



10月行事は、「第21回ふる里ミニ運動会」を15日(火)、16日(水)、17日(木)の三日間行いました。紅白に分かれ、始まる前から職員も利用者の皆さんも、やる気みなぎる表情が観えました。初めに選手入場！そして、センター長の開会宣言で運動会の始まりです。三日間、「若い力」を皆さんで歌いました。選手宣誓では、各チームを代表して一名ずつ前に出て頂きました。準備運動では、ラジオ体操を行ない立って参加される方も多く競技前からやる気を感じました。



プログラム1番「カツラを被ってパン食い競争」。なぜか、カツラを被り記念撮影！競技の始まるとなぜか、カツラを被り記念撮影！



プログラム2番「じゃんけん勝負」。一回目で勝つと無事にゴール！負けるとバツ印を顔に貼られてしまうという競技内容で、足が速くても、杖、歩行器、車椅子でもじゃんけんに勝たない限りゴールできないため皆さん必死に「ジャンケンポーン！」と大きな声と一緒に手を出されていました。



二つの競技が終わり、水分補給をした後に「中間発表！」。この発表で勝っているチームは、負けないように気合を入れたり、負いているチームは、勝つために気合を入れたりと更にチームで団結力を高められました。

プログラム3番「応援合戦」。この日の為に各チーム一生懸命ダンスの練習をし、奇抜な衣装などにも楽しまれました。一緒になって掛け声をかけたり、応援を盛り上げて下さいました。



プログラム4番「紅白玉入れ」。利用者の団体競技です。中央に立てられたカゴの中に制限時間30秒で、お手玉を多く入れたチームが勝ちというルールです。皆さん相手チームに負けないと必死に玉を投げ入れられていました。腕を大きく振り上げ普段見ない姿に職員も興奮しました。



プログラム5番「上手にできるかな？」。職員団体競技です。紙コップを積み上げ、箱の中に色々と用意されている道具をひとつ取って、それにピンポン玉を乗せ中庭を一周。初めに積み上げた紙コップを元に戻し次の方にバトンタッチ！勝敗を分ける大きな一戦となり、職員も利用者さんも立ち上がって「がんばれー！」と沢山の声援もあり、大いに盛り上がりました。



新青果表



From 中邑 典子 松瀬 加代

訪問ボランティア

10月5日(土)「タヒチアンダンス様」(左側の列の写真)、26日(土)「たんぽぽ様」(右側の列の写真)、による訪問ボランティアがありました。「タヒチアンダンス様」のセクシーな衣装で、皆さん初めて見るダンスに驚きと感動がありました。「たんぽぽ様」は、ギター演奏で沢山の曲を演奏して頂き、途中にはぞなぞなどもありと、皆さんと一緒に歌い、笑うことが出来ました。



高齢者自立支援センター ふる里

【高齢者自立支援センターふる里】とは…

介護認定を受けておられない方(総合事業対象者)と要支援1及び2の方を対象とした新事業の高齢者活動支援サービス事業(A型)を平成29年4月から始めました。名称は「高齢者自立支援センターふる里」といいます。

生涯、健康で安全・安心な自立した生活が送れるように支援していくことを目的とし、専門的な職員(自立支援プランナー)がサポートいたします。ご興味のある方は、いつでもどうぞ。ご連絡をお待ちしております。



十一月の行事予定

◆ふる里11月行事 『答えて合わせてマッチングGood』 19日(火)・20日(水)・21日(木)

- ◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 8日(金)・25日(月)
- ◆書道教室 ~中村 朱実 先生~ 4日(月)・28日(木)
- ◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 23日(土)
- ※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。
- ◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 26日(火)
- ◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後

(6、13、27 実施予定です。)



今月の作品



左の写真は、10月20日(土)、21日(日)の二日間行われた、「よさこい佐世保祭り」の写真です。私と中邑さんが、このチームで踊っています。ゆかた組は、竹松で行われている「ゆかた祭り」のPR隊として活動しているチームで、大村を拠点に色々な所のお祭りにも参加し踊っています。佐世保祭りでは、審査を受けファイナルステージに残る目標で頑張りました。172チームで争い、上位18チームが残ることが出来ます。ゆかた組は、最終ステージに進むことが出来ませんでしたが、22チーム以内に入ることは出来ました。11月も大村・千綿などで踊ることが決まっていますので、頑張りたいと思っています。これからだんだん寒くなってきます。皆さんも体調を崩されないように十分気をつけてされてくださいね♪♪

編集後記 末永 直己